

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 28 年 6 月 10 日現在

機関番号：32606

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25282196

研究課題名(和文)旧制中等学校におけるスポーツの成立と学校運動部の展開に関する全国的調査と研究

研究課題名(英文) Nationwide survey and research on the development of the establishment and the school athletic sports in the old system secondary school

研究代表者

斉藤 利彦 (Saito, Toshihiko)

学習院大学・文学部・教授

研究者番号：20178495

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、近代日本スポーツ史研究において重要な位置をもつ、旧制中等学校におけるスポーツの成立と発展過程を、中等諸学校の校友会運動部の動向を対象として実証的に解明することを目的とする。本研究の重要な特色は、資料として各中等諸学校の『校友会雑誌』に着目していることである。

本研究は、以上の研究成果として斉藤利彦編著『学校文化の史的探求』(東京大学出版会2015年)を、共同研究メンバーの執筆により刊行した。また、最終報告書「旧制中等学校におけるスポーツの成立と学校運動部の展開に関する全国的調査と研究」(2016年3月)を刊行した。

研究成果の概要(英文)： In modern Japanese sports history research, analysis of the establishment of sports and the development process in the old system secondary school is important. The purpose of this study is to demonstrate to clarify the establishment of the sport in the old system secondary school the development process, as the target of the trend of the Alumni Association movement of the secondary Schools. In the past, there is accumulation of research of sports history in universities and old system high school, from the diversity of each multitude and regions of the number with respect to secondary school, the study, has not been nearly done. An important feature of this study is that it focuses on "Alumni Association magazine" of each Secondary Schools as material.

This study, more than Saito as research Toshihiko written and edited by "historical quest of the school culture" (University of Tokyo Press, 2015), was published by the writing of joint research members.

研究分野：中等学校教育史

キーワード：校友会 運動部 中等諸学校 学校文化

### 1. 研究開始当初の背景

近代日本スポーツ史において重要な位置をもつ、旧制中等学校におけるスポーツの成立と発展過程に関して、従来、大学や旧制高等学校におけるスポーツ史の研究は蓄積があるものの、中等学校についてはその数の多さや地域ごとの多様性から、さらには実業学校や高等女学校の運動部の研究については、ほとんど蓄積はなされてこなかった。その要因として史料論的な問題がある。本研究は、研究代表者がこれまで行ってきた旧制中学校および高等女学校を前身にもつ高等学校それぞれ700校、1074校の『校友会誌』の刊行と所蔵に関する全国アンケート調査をもとに、『校友会誌』の運動部報等を通して、運動部の展開と動因、創設された部の名称と背景、部員の意識と行動等の解明を目ざそうとしたものである。

### 2. 研究の目的

本研究は、近代日本スポーツ史研究において重要な位置をもつ、旧制中等学校におけるスポーツの成立とその発展過程を、校友会運動部の動向を対象として実証的に解明することを目的とする。そのために本研究が分析の対象とする根本史料は、各中等学校が定期的に(年1回あるいは2、3回)刊行していた『校友会誌』である。研究代表者はこれまで予備的な調査として、旧制中学校および高等女学校の『校友会誌』の刊行と所蔵に関する全国アンケート調査(回収率54%)を行い、その結果、後身となった新制高校の中で創刊号からほぼ全号を所有する高校は60校ほどであり、「ほとんど」所蔵している高校も多数にのぼることが判明している。これらの学校における『校友会誌』中の「運動部報」等を対象として、創刊の明治期から昭和初期までの運動部の展開を通時的に分析することが可能である。また研究代表者自身も独自に『校友会誌』の収集を行っている。

本研究は、これら中等学校の『校友会誌』を調査・閲覧・分析し、かつデータ・ベース化を行い、明治期から昭和前期までの校友会運動部および各部の展開を通時的に明らかにしていく。その際、創設された各部の名称と経時的な変遷の解明のみならず、それらの運動部が具体的にどのような活動内容を有していたのか、さらにはその浮沈およびその要因と背景も含めて、時間の経緯の中でどのような展開を遂げたのかを明らかにする。このことによって、日本近代のスポーツ史と学校運動部のダイナミックな活きた歴史の解明につなげようとするものである。

### 3. 研究の方法

研究代表者がすでに行った、旧制中学校および高等女学校の『校友会誌』の刊行と所蔵に関する全国アンケート調査をもとに、サンプル的中等学校の『校友会誌』の通時的分析による校友会運動部の展開の分析、上記校友会運動部に関する史料の所在状況の把握と、『校友会誌』記事のデータ・ベース化、

上記の作業と並行して、各地の県立図書館、国会図書館、東京大学法学部明治新聞雑誌文庫等における『校友会誌』の所蔵状況および校友会運動部の記事の調査、地域単位、ブロック単位、全国単位の「対校競技」「遠征試合」への展開とその動因・パターンの分析、

先行研究および戦前における『校友会誌』に関する基本文献・史料の収集と検討を行い、校友会運動部の展開過程と具体的な活動内容、さらにはその浮沈、部員の意識と行動も含めて、日本近代の中等学校運動部とスポーツ史を解明していく。

### 4. 研究成果

以下の『研究成果報告書』を、研究代表者及び研究分担者全員の執筆により、2016年3月に刊行した。

#### 目次

第一章 校友会運動部の改編と学校報国団の成立 「国防競技部」の創設への動向を中心に 齊藤利彦

[論文] 校友会運動部の改編と学校報国団の成立 - 「国防競技部」の創設への動向 -

#### [史料解題]

I 中等諸学校運動部に関する全国統計  
三井原仙之助編『全国公立尋常中学校統計書』1898(明治31)年4月刊

「第十四表 実科、撃剣、柔術、学友会及宿直に関する表」

文部大臣官房体育課編「中等学校ニ於ケル校友会運動部ニ関スル調査」1933(昭和8)年5月刊

#### II 校友会運動部の成立と発展

一東京府立第一中学校を例として一  
『東京府立第一中学校創立五十年史』1929(昭和4)年10月

学校報国団と「国防競技部」の成立  
青森県立弘前中学校報国団団則 『報国』第一号、1942(昭和17)年

長野県立諏訪中学校報国団団則 『報国団誌』第四一號、1942(昭和17)2月

埼玉県立秩父高等女学校学友会・同窓会『ちちぶ』1941(昭和16)1月

東京府女子師範学校・東京府立第二高等女学校竹早報国団『竹早』1942(昭和17)年3月

#### 第二章 日本における庭球(ローン・テニス)の地方拡大について

明治初期の『校友会雑誌』史料解題  
佐藤陽治

[論文] 日本における庭球(ローン・テニス)の地方拡大について

明治初期の校友会雑誌史料解題

[史料解題] 日本の地方におけるローンテニスの黎明

「日本体育スポーツ年表」

「体育史」、和歌山県立新宮高等学校

「学友」(和歌山縣立新宮高等女學校)

創立三十周年記念號

「学友」(和歌山縣立新宮高等女學校) 創立三十周年記念號  
 「団報」(和歌山縣立新宮高等女學校)  
 「磐盾讚歌」卒業五十周年記念誌、新宮中学第三十三回同友会  
 「学友」代十四号、(和歌山縣立新宮高等女學校) 昭和二年十二月  
 「創立百周年記念誌」鳥取県立倉吉東高等学校  
 「創立百周年記念誌」鳥取県立米子東高校  
 「倉農百年史」(倉吉農業高等学校)  
 「鳥城 創立第六拾年記念号」鳥取第一中學校(校友会雜誌)  
 「鳥取県のテニス 協会史」(鳥取県テニス協会)  
 「鳥取スポーツ一年」  
 「鳥根県体育史」  
 「鳥根県体育スポーツ史」(種目別競技史)  
 「日本スポーツ百年の歩み」日本体育学会体育史専門分科会  
 「凌霜外史」旧制学校シリーズ1 校史出版  
 「姫路高等学校三十年の歩み」  
 [参考文献]

### 第三章 中等諸学校運動部における武道に関する考察 井澤直也

[論文] 中等諸学校運動部における武道に関する考察

[史料解題]

#### 武道の理念と近代スポーツ

1. 東京府立第三中學校「武芸部員に告ぐ」『学友会雑誌』第3号 1902年12月
2. 熊本中學校校友会「我が武士道観」『江原』第6号 1906年6月
3. 山形県立中學校「擊劍部報」『共同会雑誌』第43号 1915年
4. 下関商業学校校友会「下関商業学校武道部の創設と武道修養の意義について」『会誌』第86号 1934年9月  
 武士道に関する論說
5. 秋田県立中學校「劍道部報」『羽城』第40号 1911年12月
6. 東京府立第一商業学校「柔道部報」『東光』第4号 1930年7月
7. 東京府立第一商業学校「弓道部新設さる」『東光』第5号 1932年12月
8. 石川県立金澤第一中學校「日本の武士道」『校友会誌』第58号 3月 1917
9. 府立第一商業学校校友会「希望」『東光』第6号 1934年7月
10. 府立第一商業学校校友会「弓道部」『東光』第6号 1934年
11. 浦和中學校「柔道の始祖と柔の語義」『麗和会誌』第45号 3月 1936年  
 劍道と運動部
12. 岐阜中學校華陽会「劍道の真理」『華陽』第34号 1903年3月

13. 滋賀県立八幡商業学校「劍道部報」『近江商人』第99号 1930年5月
14. 開成中學校校友会「擊劍部報」『校友会雑誌』第38号 1905年7月  
 武道のイデオロギー化
15. 東京府立農林学校「劍道部だより」『校友会誌』第27号 1933年2月
16. 東京府立農林学校「劍道部報」『校友会誌』第32号 1938年3月
17. 東京府立農林学校「劍道部報」『校友会誌』第34号 1940年3月
18. 嘉納講道館長来航」『羽城』秋田中學校」第38号 1911年
19. 大阪府北野中學校 嘉納治五郎講演『六稜』1926年7月
20. 熊本工業学校校友会「運動競技について」『会誌』第27号 1925年12月
21. 熊本工業学校校友会「運動競技についての私見」『会誌』第29号 1926年12月  
 武道の発展と大日本武徳会
22. 大日本武徳会『本邦二於ケル体育運動団体ニ関スル調査』文部大臣官房体育課 1930年
23. 八幡商業学校『近江尚商会会誌』第50号 1905年9月
24. 近江尚商会「部報」『近江商人』第93号 1926年

### 第四章 長野県下の中等学校連合運動会成立期における動向

生徒・教員・世論

瀬川大( )

[論文] 長野県下の中等学校連合運動会成立期における動向 生徒・教員・世論

[史料解題]

#### 校友会雑誌にみる連合運動会の様子

- 「信越六校大運動会」長野中學校校友会『校友会雑誌』第4号、1902(明治35)年3月  
 「擊劍部記事」長野中學校校友会『校友会雑誌』第5号、1902(明治36)年3月  
 「信越連合大運動会状況」高田中學校修養会『修養会雑誌』第4号、1902(明治35)年3月  
 「北征録」松本中學校校友編集局『校友』第6号、1903(明治36)年3月  
 「長野師範中学、蚕業、連合運動会」松本中學校校友編集局『校友』第8号、1904(明治37)年3月  
 「連合大運動会」長野師範学校校友会『学友』第21号、1902(明治35)年12月  
 「野球部報」飯田中學校校友会『校友会雑誌』第3号、1904(明治37)年4月  
 「連合運動会記事」松本中學校校友編集局『校友』第19号、1906(明治39)年12月

## 当時の生徒たちの回想

座談会『御子柴先生と運動部』吉沢清次郎編『御子柴朔朗先生追想録』御子柴朔朗先生追想録刊行会、1965年

## 教員の運動会観

甲第一五号ノ二(長野県各中学校長及分校主事協議会関係『明治三十七年 第三課 中学校』

「連合運動会之議二付通牒ノ件」『明治三十八年 学務課 中学校』

「中学生停学事件」『信濃毎日新聞』1902(明治35)年11月2日3面

「平田教諭の談話について」『信濃毎日新聞』

1902(明治35)年11月5日2面

## 生徒の運動観

漫言」より 松本中学校校友編集局『校友』第19号、

1906(明治39)年12月

藤田信幸「青年体育」長野中学校校友会『校友会雑誌』第4号、

1902(明治35)年3月

小林洋吉「体育論」松本中学校校友編集局『校友』第7号、

1903(明治36)年9月

鬼門生「体育会に建議す」松本中学校校友編集局『校友』第2号、

1901(明治34)年2月

「体育会雑事」松本中学校校友編集局『校友』第2号、

1901(明治34)年2月

青天「運動の気風銷沈せるにつきて」松本中学校校友編集局『校友』

第3号、1901(明治34)年6月

市川光二「剣道の真味を説きて普く斯道の振興を促がす」

長野師範学校学友会『学友』第6号、1899(明治32)年12月

## 新聞にみる運動・運動会観

⑲「高田に於ける六校選手連合運動会」『信濃毎日新聞』1901(明治34)年10月22日1面

⑳「連合運動会」『信濃毎日新聞』1902(明治35)年11月2日2面

㉑「信越連合運動会」『信濃毎日新聞』1902(明治35)年10月5日2面

㉒校外オシヤベリ生「はがき集」『信濃毎日新聞』

1902(明治35)年10月8日3面

㉓雪鞋「運動に就て」(一)～(三)『信濃毎日新聞』

1902(明治35)年10月31日～11月2日2面

## 連合運動会参加学校の内紛

㉔「中学生同盟休校」『信濃毎日新聞』1903(明治36)年7月16日2面

㉕「師範学校の内訌」『信濃毎日新聞』1903(明治36)年11月2日2面

## 第五章 中学校における野球競技の確立と

## 発展および変容

山形中学校を事例として

市山雅美

[論文]

山形中学校に見る野球競技の確立

山形中学校における対校試合禁止の時期の野球部の動向

[史料解題]

『共同会雑誌』に掲載された山形中学校野球部関連の記事

「ベースボール倶楽部」第4号 1895年

「ベースボール倶楽部」第5号 1896年

「本校対師範学校野球試合(十月廿三日)」第13号 1900年

「対舎野球仕合記事」第15号 1900年

「野球部諸君に告ぐ」第19号 1902年

「色々草」第20号 1903年

「講談会」第21号 1903年(抄)

「野球部残念会」第21号 1903年

「米沢中学対本校野球仕合」「新庄中学対本校野球仕合」第22号 1904年

「野球部報」第29号 1907年

「山形米沢新莊三中学連合野球大合戦」第30号 1908年

「野球部報」第33号 1909年(抄)

「野球だより」第35号 1910年

「野球部報」第37号 1911年

「野球部報」第39号 1913年

「野球部史」(「野球部報」より)第47号 1917年

「野球部報」第48号 1917年

「野球部報」第49号 1918年

「母校野球の懐(ママ)懐(ママ)ひ出」第66号 1934年

「共同会沿革史 野球部」第66号 1934年

年

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計6件)

斉藤利彦「「学校文化」の探求へ」斉藤利彦編著『学校文化の史的探求』東京大学出版会、2015、1-14 査読無 DOI無

斉藤利彦「『校友会雑誌』にみる学校文化」同上編著、15-36 査読無 DOI無

佐藤陽治「日本における庭球の地域拡大について 明治初期の『校友会雑誌』資料解題—」『学習院大学文学部 教育学・教育実践論叢』第2号、2015、49-65 査読無 DOI無

市山雅美「生徒の表現の場としての『校友会雑誌』」前掲編著、37-68 査読無 DOI無

市山雅美「学校文化研究の今後の課題と展望」前掲編著、357-370 査読無 DOI無

瀬川大「明治中期の旧制中学校における『修養』の普及過程 松本中学校及び岐

阜中学校の事例」日本道德教育学会『道徳と教育』、2014、63-73、査読有 DOI無

〔学会発表〕(計 1 件)

齊藤利彦「校友会から報国団への国家的再編と運動部の変容」日本体育学会第 66 回大会(於 国土館大学) 2015.8.27

〔図書〕(計 1 件)

齊藤利彦編著『学校文化の史的探求』東京大学出版会、2015、総頁数 374 頁

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

齊藤 利彦 (SAITO, Toshihiko)  
学習院大学・文学部教育学科・教授  
研究者番号：20178495

### (2) 研究分担者

佐藤 陽治 (SATO, Yoji)  
学習院大学・スポーツ健康科学センター  
(付置研究所)・教授  
研究者番号：20154114

瀬川 大 (SEGAWA, Dai)  
日本女子体育大学・体育学部・准教授  
研究者番号：20637334

市山 雅美 (ICHIYAMA, Masami)  
湘南工科大学・工学部・准教授  
研究者番号：50410030